

SSKO

NPO法人 共に歩む市民の会 会 報



2020年11月15日 発行

共に歩む市民の会広報委員会
横浜市旭区鶴ヶ峰 2-2-4
☎045-453-8386

【皆様 初めまして】

共に歩む市民の会事務局長 赤間 幸男

8月から、共に歩む市民の会の事務局をさせていただく事になりました赤間です。

私は北海道の道東地方、摩周湖で有名な弟子屈町（てしかがちょう）に住んでおりました。冬期の1月、2月はマイナス20℃以上になる事も多く、とても寒さが厳しかったですが、手つかずの自然が豊かな観光地でした。

今年の3月末で40年間の地方公務員を定年退職致しました。公務員生活では、主に建設課が長く30年、他に総務課・経済観光課など10年で退職前8年間は建設課長として任務を果たしてきました。豪雨、大雪の災害対応や公営住宅の建設及び管理、道路整備・公営住宅建設に伴う国の予算確保、町民の苦情対応などが主な業務でした。多くの人との信頼関係の中で、無事退職を迎えられた事は嬉しい限りです。

退職後は一人娘がいる横浜へ移住し、第2の人生を歩もうと、昨年夏季頃に意志を固めました。今年2月の札幌雪まつり後から北海道でのコロナウイルス感染者が増え、その状況を踏まえ理事者の方々の理解を得て、3月16日に60年間住んでいた北海道を離れました。3月18日に旭区役所に転入届を提出し、横浜市民となりました。きれいに咲いていた桜を見ながら区役所へ行った事が思い出されます。

横浜市旭区には数回遊びに来ていましたが、実際住んでみて道路の狭さや坂道の多さ、密集した建物や人の多さに圧倒される事が多々あります。一番不安だったのは、梅雨と夏の暑さでした。しかし、周りの方に助言してもらいながら、エアコンの使い方も学び、何とか乗り切ることができました。又、横浜市を探検しようと考えておりましたが、コロナウイルスのため、遠方への外出も控えている状況であります。横浜はたくさん見所があるので少しずつ足を延ばし、楽しみを広げたいと思っている所であります。

4月1日より、旭区社会福祉協議会あんしんセンターの生活支援員として週3日、お世話になっております。7月頃に共に歩む市民の会の現職理事Kさんより「週2日法人の事務局として応援してほしい。一度施設などを見学して下さい」との事で、最初は断る覚悟で行きましたが、「社協と重複する面もあるのではないか」色々考えた末、数日後に了承した次第であります。正直な処、福祉関係とは今まで無縁でしたので、不安な気持ちもありましたが、ほっとぽっと利用者の皆さんが様々な状況で努力している姿を見て、事務局として皆様のお役に立ちたいという気持ちになりました。

今後は皆様の支援を頂きながら、何分微力ではありますが共に歩む市民の会の運営に役に立てる様、努力しますので宜しくお願い致します。



リカバリーフォーラムを終えて

澤田 高綱



リカバリーフォーラムの分科会「ピアサポートとつながろう～リカバリー志向の医療の場を実現する 100 のアイデア～」に話題提供者として登壇。今回はコロナの影響で初のオンラインZoom開催。昨年度もほっとぼっとのびあ活動の「キャラバン隊かめ」を紹介し、好評だったのですが、今回も同じ内容をと依頼が来ました。しかも後半はオープンダイアログ形式で参加者から意見をもらってアイデアをだそうという試み。しかし同じことを話してはと「キャラバン隊かめ」がお世話になっている誠心会あさひの丘病院の意見も取り入れ、ピアサポートをやりたい側と受ける側の両方をお話することになりました。

とはいっても、あさひの丘病院の考えを聴くことができるのだろうか。そこでまず「キャラバン隊かめ」の生みの親である高野さんに話を聞きました。そして話の中で法人の古い歴史を知ることが必要と考え、古い資料を貸してもらいながら市民の会の会報を1号から読みあさりしました。そこで気づいたことはたまり場の存在です。あさひの丘病院の松迫さんや他の法人の人たちが一つとなって作ってきたたまり場があったから病院にピアが入るのは当たり前といえる関係ができたのだと。それを元に歴史年表を作成しながらあさひの丘病院の考えを伺いスライドを完成させる。その後は毎週のようにZoomで練習を続けました。

そして本番、余裕をもって準備に入っていたのですが、主催者のミスで最初の10数分私だけはいれないという事態が発生。自宅にいた私は焦っていましたが、それでも内容を削っても後半ができなくなるのではと急いでしゃべって本当にこれでよかったのかと思ったのですが、後半思った以上に沢山のアイデアが出てよかったという感想をいただき、参加者も300人近くの方が参加してくださりました。皆さんありがとうございます。

リカバリーフォーラムを視聴して

國井 淳子



【オンライン開催】リカバリー全国フォーラム2020

今回のリカバリーフォーラムはリモート開催ということでしたのでいい機会とばかりに参加させていただきました。主催者もなれないことでかなり手間取ったようです。実際に、当日になってもリモート開催の案内が届かず、何度もメールをして午後になってからやっと視聴できるようになりました。

澤田さんの時間には間に合いましたが、今度はなかなか澤田さんが現れず、ひやひやしました。リカバリーフォーラムは2回目の参加でしたが、自分のペースで視聴できる、どこにいても参加できるなど、リモート開催もなかなかいいものだと思います。実際にリカバリーフォーラムや各種研修会など、私事気が行っているのだろうか少し臆することもあります。リモートでしたら全く気兼ねなく参加できます。

ほっとぼっとでは一台のPCを数人で囲んで視聴したようです。

もちろん、一堂に会することの重要性は十分理解致しますが、こんな開催方法あるのかと、出来たら来年度からはリアルな参加とリモート参加の2段階重ねて開催してくれるといいなと思っています。



ほっとぽっとの今

施設長 田中 梨奈

○ 標準化 10月から本格実施

月曜日開いています！

市内のセンターの曜日、運営時間が統一されました。日曜休館、土曜は短時間です。

相談は居住区のセンターが担当となります。

フリースペース、プログラムは18区どこでも利用できます。（登録は必要）

○ 新規相談、訪問が増えました。

標準化による相談機能強化の効果か、コロナ下のストレスが原因か、様々な相談を受け対応させていただいています。訪問も増えました。職員は欠員状態なので、多忙でご迷惑をかけますが、多くの人に必要な支援を届けるため、ご理解ご協力をお願い致します。

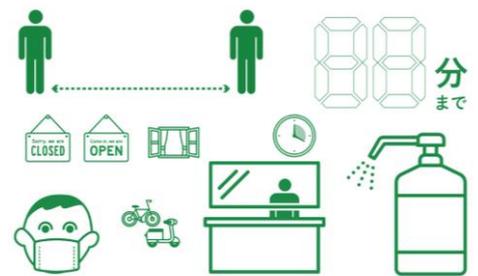
○ コロナ対策継続中

感染防止のため、消毒・換気・入館時チェック（手洗い・検温・体調確認）

飛沫拡大防止シート設置、3密回避のレイアウト

プログラム・ランチの人数制限と短時間化、手作りマスク教室

オンライン会議や研修の活用などを工夫し実施中。



○ 旭区に「精神連絡会」ができました！

旭区自立支援協議会に精神専門の関係機関連絡会が10月6日正式発足しました。

コロナ禍で人数制限をしながらですが、精神科病院からの社会的入院の解消・地域移行促進・地域づくりをテーマに、少しずつ関係づくりから始めて行きます。ほっとぽっとは事務局も兼ねます。

○ 移転について

以前から、狭い、老朽化、面談室が少ない、本館別館が離れている、バリアフリーではないので使い勝手が悪い等の苦情もあり、物件探しも3年目に入りました。何件かの候補があるも、まだ移転実現に至っていません。引き続き法人として取り組んで行きます。

新規事業の顛末と今後

理事会からのご報告

昨年来、新規事業として新しい地活を作るべく奔走しておりましたが、今年度は断念することとなったことは総会資料にある通りです。

ただ、これは新規事業を今後ともあきらめるということでは決してありません。今回の提案に関しては時期尚早だったのかもしれませんが、地活という形態が私たちの理想とする活動と合致していなかったのかもしれませんが。

「すべてのことにはその定められた時がある」

そんな言葉を胸に捲土重来、いつの日か巻き返しを図っていくつもりです。

今年一年はとりあえず目の前にある移転問題に全力を注ぎ、それでも新規事業への意欲は失わず常にアンテナを張っていたいと思っています。

第72回理事会報告

日時： 10月29日（木）18：30～21：00

場所： ほっとぽっと別館

出席者： 理事：8名 職員3名

<審議事項>

- ① 上期会計報告について
- ② 常勤職員給与規程の改訂について
- ③ 職員採用について

2020年11月～2021年1月 市民の会・ほっとぽっと スケジュール

ほっとぽっとのプログラムも少しずつ再開してきていますが、まだ人数制限があったり、密を避ける工夫をよぎなくされたりしています。

今後の予定も中止がほとんどになってしまい寂しい限りではありますが、前向きに頑張っています。

★ 年末年始休館 2020年12月29日（火）～2021年1月3日（日）

★ ミニ清掃をします！

10/26、11/11に続き、11/25（水）と12月（日時未定）にも

本館・別館ミニ清掃を行う予定です。

日頃手の回らない所もきれいにしましょう。ご協力をお願い致します。

★ 第22回 旭区精神保健福祉セミナー 【オンライン開催予定】

・日時 2021年2月27日（土）13：00～15：00

・参加費無料

・ZOOM開催 詳細は今後チラシ・横浜市や当法人のホームページでご覧下さい。

・内容 テーマ「何故こわいと思われる精神障害者 あたりまえに地域で暮らせる喜び」

・・・住み慣れた地域で生きがいを感じて生活するには・・・

第1部 当事者体験発表

第2部 講演 蔭山正子氏

みんなが暮らしやすい地域とは～精神障がい者が感じる「暮らしにくさ」をヒントに

ぴあくらぶより

○12月のクリスマス会は、コロナの影響を考え密になりそうなので中止しました。その代わりに外に出て密にならないイベントとして1月に初詣(日程未定)を予定しています。

○10月29日(木)に、ぴあ活動をしている人達の思いなどを話したぴあ活動ミーティングを行いました。

○11月30日(月)に、対外的ぴあ研修として活動ホームゆりあすとオンライン研修を行う予定です。

○2020年のぴあ活動紹介文ができました。ほっとぽっと本館の1階および2階に掲示してあります。

編集後記

町には早くもクリスマスの飾り付けが施されています。思い起こせばコロナで始まり終始した一年でした。街中でマスクをするのは常識となり、手洗いうがいも日常となりました。早くマスクを外して大きな声で笑い合いたいものですね。(國井)